

## 世田谷区民健康村ふじやまビレジ温浴施設の増築について

(付議の要旨) 世田谷区民健康村ふじやま温浴施設増築について、設計の基本的な考え方がまとまったので報告する。

### 1. 目的

川場村との縁組協定締結から35年、区民健康村の開村から30年目を迎え、交流事業は様々な形で成熟し多くの区民が繰り返し川場を訪れているが、区民訪問者の新規掘り起こしが課題となっている。また、建設から30年が経過した区民健康村も施設老朽化が進む中、移動教室等の実施に影響を及ぼさずに施設を改修していく必要がある。

他方、川場村内の「道の駅川場田園プラザ」は、全国有数の道の駅として非常に高い人気を博しており、年間170万人もの観光客が訪れているが、観光客のほとんどが道の駅に留まり区民健康村施設や川場村内まで客足が伸びていない状況にある。

そこで、区民健康村ふじやまビレジ敷地内に既存天然温泉を活用した温浴施設を増築し、川場の美しい自然環境や里山文化を体感できる施設とすることで、より川場村の魅力を向上させるとともに、健康村施設利用者の増加に繋げる。

併せて、老朽化が進む既存内風呂施設の改修期間においても移動教室と区民利用の両立を図り、いつでも区民健康村が利用できることでより一層の区民利用者サービスの向上を図る。

### 2. 設計の基本コンセプト

- (1) ふじやまビレジ敷地内を流れるせせらぎと樹木や田畑に囲まれた周辺環境に溶け込んだ施設とすることにより、国内外から訪れる利用者に水と緑豊かな川場の田園風景など『日本文化・里山文化』を感じてもらえる施設とする。
- (2) 川場産の木材を中心に、木の特性を生かしながら木質内装材を多用することによって、木のぬくもりを感じ、落ち着きのあるやさしさを感じる構造とする。
- (3) 露天風呂横の『涼み処』や休憩・待合スペースである『休み処』などを設け、またユニバーサルデザインに配慮しエレベーター等も新設し、ふじやまビレジ既存スペースも再活用することにより、区民や村民の新たな交流の場を提供する。

### 3. 工事概要

- |           |  |
|-----------|--|
| (1) 場所    | 群馬県利根郡川場村谷地 1320<br>世田谷区民健康村ふじやまビレジ敷地内 |
| (2) 構造・階数 | RC造+一部鉄骨造+木造 地上1階建て                    |
| (3) 建築面積  | 約680㎡                                  |
| (4) 延床面積  | 約730㎡(温泉棟・通路・車いす対応エレベーター)              |

4. 主な施設内容

- (1) 浴室 温泉（源泉）かけ流し浴槽、循環温泉浴槽、露天温泉浴槽、洗い場  
温泉はふじやまビレジ敷地内の既存源泉を使用。  
男女それぞれ30名程度の同時利用を想定。
- (2) 脱衣室 脱衣棚、パウダールーム、車いす対応トイレ、貴重品ロッカー
- (3) お休み処 ベンチ、ギャラリースペース、トイレほか
- (4) その他 機械室、倉庫、渡り廊下、車いす対応エレベーター

5. 概算経費

- (1) 概算工事費 約3億5千万円

(2) 区民健康村（指定管理施設）の運営に伴う収支計画案 (単位：千円)

			27年度実績	30年度以降 (想定)	
収入	区からの指定管理料		374,092	356,173 (17,919)	
	利用料収入	ふじやまビレジ・なかのビレジ	47,862	50,000	
		新温浴施設		41,104	
	合計			421,954	447,277
支出	区民健康村 既存施設 該当分	管理事務業務	85,758	85,758	
		厨房業務	87,834	87,834	
		サービス業務	126,871	126,871	
		外構・車両運行	37,366	37,366	
		設備・営繕業務	34,513	34,513	
		交流事業	5,240	5,240	
		光熱水費	44,065	44,065	
		計	421,643	421,643	
	新温浴施設 該当分	人件費、各種消耗品、入湯税等		10,887	
		保守管理費、修繕費		3,600	
		光熱費		11,147	
		計		25,634	
	合計			421,643	447,277
	収入 - 支出			311	0

千円以下切り上げ 収益分（収入 - 支出）は指定管理料において調整している。

利用料収入は、以下の利用料金設定（想定）を基に算出した。

世田谷区民・川場村民	700円	
区外利用者	1,050円	
小学生以下	400円	
貸切風呂（区民・村民 45分間）	3,000円	
貸切風呂（区外利用者 45分間）	4,000円	料金には入湯税を含む。

利用者数等は、以下の想定を基に算出した。

個人利用	4万人
根拠内訳	
・道の駅川場田園プラザ年間来場者 約170万人の2%	約3万4千人
・川場スキー場年間来場者 約14万6千人の約4%	約6千人
貸切利用	900組
根拠内訳	
・貸切風呂 移動教室を除く営業日数×稼働率30%	730回
・貸切部屋 移動教室を除く営業日数×3室利用×稼働率20%	182室

### (3) その他

本施設は指定管理施設とし、既設の区民健康村と同様に利用料金制を採用する。  
区民健康村宿泊中の利用者は、追加料金なしで利用できるものとする。  
貸切風呂は既存施設(温泉館)を活用し、宿泊利用者等を対象にサービス提供する。  
サービス開始時期は既存施設(温泉館)の老朽化に伴う改修工事完了後を予定している。  
実施にあたっては、国や東京都の補助金等をはじめ、積極的な財源の確保に努める

## 6. 今後のスケジュール(案)

平成28年度	9月 1日	区民生活常任委員会報告
	9月 下旬	実施設計案まとめ
平成29年度		建設工事開始
	9月	第3回定例会において区民健康村条例(利用料金)の改正
平成30年度		供用開始予定